



令和6年11月5日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

令和6年11月4日(月)午後7時頃、海上自衛隊は、中国海軍クズネツォフ級空母「山東」(艦番号「17」)、レンハイ級ミサイル駆逐艦(艦番号「106」)及びルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(艦番号「165」)の計3隻が、宮古島(沖縄県)の南約640kmの海域において北西に向けて航行していることを確認した。

また、同日、空母「山東」の艦載戦闘機によるもの約10回、艦載ヘリによるもの約10回、計約20回の発着艦を確認した。

その後、これらの艦艇が南シナ海へ向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇は、同日午前11時頃に、宮古島の南約720kmの海域において確認したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第11護衛隊所属「ゆうぎり」(横須賀)により、警戒監視・情報収集を行った。

クズネツォフ級空母「山東」(艦番号「17」)



レンハイ級ミサイル駆逐艦(艦番号「106」)



ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(艦番号「165」)(奥)
警戒監視・情報収集を行う護衛艦「ゆうぎり」(手前)



行動概要

